

『ネットの評判が新卒採用に与える影響と傾向について』

文 佐々木寿郎

text by Toshiro Sasaki

めいわくな時代

ネットの評判は採用に影響するのか？

今回は、ネットの評判が採用活動にどのような影響を与えているのかについて解説をしていきたいと思います。

人事担当者の方で、本当に影響があるのかはつきりと分らない、と思っ

現在の大学生は「デジタルネイティブ世代」と呼ばれており、面接での質問内容や面接官の印象、面接の結果などを何のためらいもなく掲示板で意見交換しています。

ネット上の書き込み数の推移（全体）

就職活動は、リクナビやマイナビなどの各種媒体がオープンと共にスタートします。ネットの書き込みもそのスケジュールに連動するものとなります。

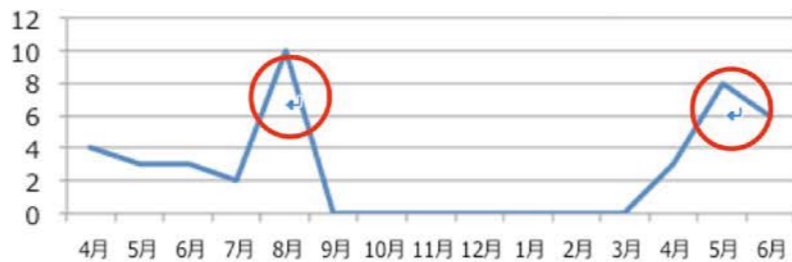
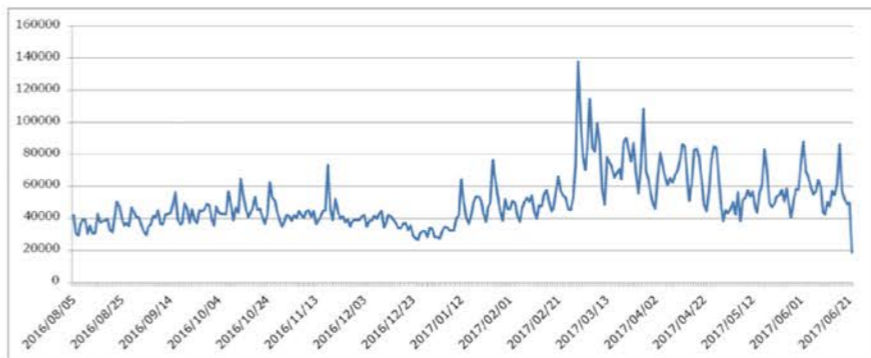


モニタリングと情報共有の体制構築

では、実際にどのように対策をすれば良いのでしょうか。まずは日々のモニタリング（監視）が必要になります。

数の推移を示したものです。リクナビがオープンするのは3月1日、ここから本格的に就職活動が始まります。

Twitter上で「就活」「面接」「説明会」などのワードを含む投稿数の推移



そして、モニタリングで知り得た情報を社内共有する体制も重要です。

次に、モニタリングしてネガティブな情報があった場合は専門家に相談をして対応方針を決めるという必要があるとあります。

中長期的な視点で考えれば、根本的な仕組みや業務フローの改善に取り組んでいくことも必要となります。

就活掲示板の書き込み数の推移（個別企業）

先程のグラフから就職活動のスタートと共にネット上の情報量が一気に増加することが分かりますが、個別の企業に対しての情報量も見ていきたいと思います。

複数の就職掲示板が存在していますが、最も知名度が高く就職活動生に活用されている「みんなの就職活動日記」を見てみましょう。

みんなの就職活動日記の中には各企業の専用の掲示板が存在していますが、試しに飲食業を運営されている某大手企業の投稿件数とネガティブな投稿件数の推移をグラフ化してみました。

赤い部分のように、やはりリクナビがオープンする3月から投稿が徐々に増加してきていくことが分かります。

ことで風評リスクは低減されていきます。

10年前であれば上記のような取り組みは必要なかったのかもしれませんが、今の時代は必要です。



Profile

シエンプレ株式会社 代表取締役社長
1976年、長野県生まれ
2009年 シエンプレ株式会社取締役就任し、ネット上の風評被害対策、webリスク対策を立ち上げる

